

様

年









月

日

GEM（ジェムザール）療法

ゲムシタビン（ジェムザール注）：細胞に取り込まれDNAの合成を妨げ効果を現します。

<投与スケジュール> . . . 4週間 1コース 今回 コース目

		1コース目				2コース目
<薬品名> <投与方法・時間>	<薬の作用>	1	8	15	. . .	29
ゲラニセトリン注 <静注>	吐き気止め				休薬	
ジェムザール 生食 100ml <点滴静注30分>	化学療法剤				休薬	

<薬剤投与日の注意>

- ★ 点滴部位が痛くなったり、腫れたりした場合や点滴が落ちなくなった場合は、薬液が血管外へ漏れていることがありますので、すぐに申し出てください。
- ★ 薬剤の投与は、血液検査やその他必要な検査を行いながら進めていきます。副作用の発現・合併症の有無によって治療の途中でも、薬剤の減量・変更や中止されることがあります。

<備考>

<副作用>

副作用と症状	発現時期・頻度	対策	メ　モ
血小板減少 出血	約30%（高度5%） 14～20日で低下	けがや打ち身、歯ぐきからの出血、鼻血などに気をつけて下さい。止血剤や輸血をすることもあります。	
白血球減少 発熱 風邪様症状	3人に2人（高度1割）、14～20日で低下	うがいや手洗い・休養を心がけてください。白血球を増やす薬や抗生物質を使うこともあります。	
貧血 倦怠感、息切れ、めまいなど	3人に2人（高度16%）	造血剤の使用や輸血を行なうことがあります。	
間質性肺炎・肺線維症	発症、悪化1.6%	息苦しさ、空咳、発熱など、早期発見が大事。すぐに申し出てください。	
吐き気・嘔吐・食欲不振	20人に1人	我慢せず吐き気止めを使用してください。	
発熱	3人に1人	解熱剤などで対処してください。	
倦怠感	3人に1人		
過敏症（アレルギー） 顔がほてる、息苦しい、胸が苦しい、息が苦し 発疹、かゆみなど	非常にまれ	不快な症状があれば、すぐに申し出てください。	
その他：発疹、肝障害、心障害、腎障害、下痢、溶血性尿毒症症候群など			

<注意事項>

- ★ 胸部への放射線療法の併用は重い食道炎や肺臓炎が現れた例があり併用は禁止されています。
- ★ この薬で治療を継続することにより病勢の進行阻止と痛みや全身状態が改善するなどの効果も確認されています。

ここにあげた副作用は、代表的なものです。必ずしもこれらの症状が現れるとは限りません。副作用が現れても、早期に発見、対処すれば治療の継続が可能です。過剰に心配せず、気になること、調子の悪いことがあれば、医師、薬剤師、看護師に申し出て下さい。